

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年9月11日（水）

2 確認箇所

測定・確認用設備（K4タンクエリア）周辺（図1）

3 確認項目

- (1) K4タンクエリア外堰拡張工事の状況
- (2) K4タンク内面底部補修工事の状況

4 確認結果の概要

(1) K4タンクエリア外堰拡張工事の状況

A L P S 処理水の漏えいや、意図しない放出等の異常発生に備えた対策として行われているK4タンクエリア外堰拡張工事*の進捗状況を確認した。（前回確認日：令和6年8月7日）

※外堰拡張工事：地震等により、タンクとタンクを繋ぐ連結弁が破損してA L P S 処理水が大量に漏えいした場合に備え、堰の貯留可能量を増大させるための工事。A L P S 処理水希釈放出設備設置に係る事前了解に際して福島県原子力発電所安全確保技術検討会がとりまとめた8つの要求事項を受けて、東京電力が追加の安全対策として進めている。

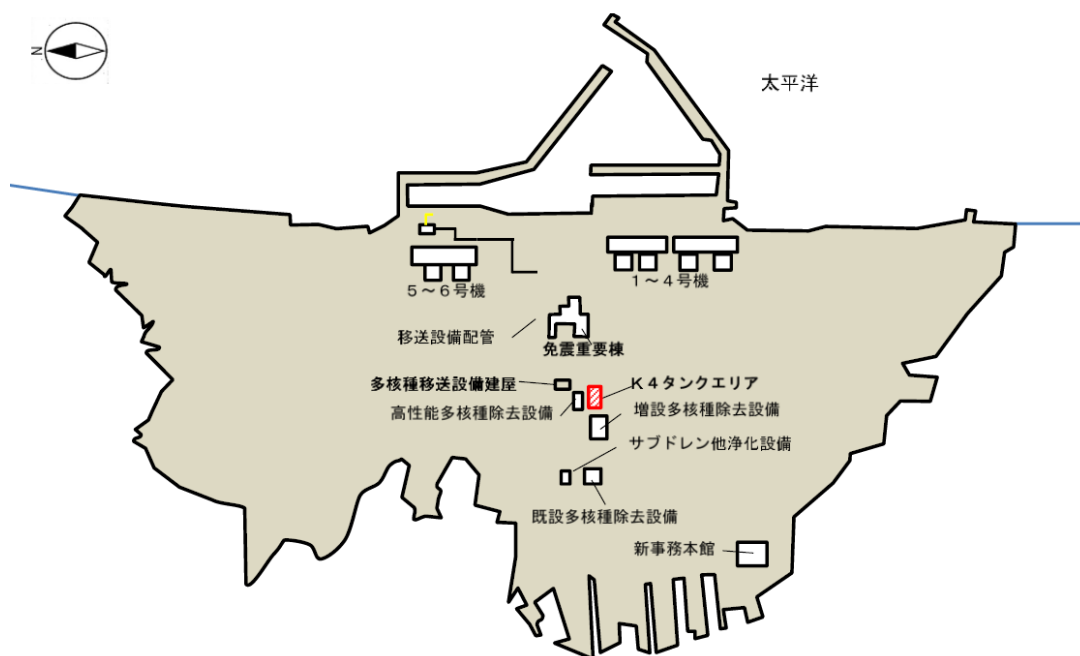
- ・ K4タンクエリアの南西側では外堰拡張工事が行われており、ラフテレーンクレーンを使っての鋼矢板（波形状の矢板を地中に埋設）の打込みが行われていた。（写真1）
- ・ K4タンクエリア南側は、資機材の仮置き場所となっていた。（写真2）
- ・ 作業現場内に使用機器の点検記録や危険予知活動表等が掲示されており、日々記入されており適切に管理されている状況であった。

(2) K4タンク内面底部補修工事の状況

A L P S 処理水等を貯留するタンクについては、長期的に運用する観点で定期的なメンテナンスが行われていることからその状況を確認した。

- ・ K4タンク底部残水を移送するためのポンプや耐圧ホースが堰内に置かれていた。また、残水を収集できるようパワープロベスター（吸引車）がK4タンクエリア近くに配置されていた。（写真3）
- ・ K4タンクC群においてメンテナンスに向けた装備着脱用のハウス設置が進められていた。また、一部のタンクではタンク点検口の蓋が開けられ、タンク内部の塗装補修作業が行われていた。（写真4）

- ・堰内のタンク周辺を確認したところタンクからの水漏れ等異常はなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
K4タンクエリアの外観
(北西側から撮影)



(写真1-2)
K4タンクエリア西側の状況①



(写真1-3)
K4タンクエリア南西側の状況



(写真2-1)
K4タンクエリア南側の状況①



(写真2-2)
K4タンクエリア南側の状況②



(写真3-1)
堰内の状況
(ポンプや耐圧ホースはタンクの残水移送に用いられる。)



(写真3-2)
パワープロベスターの状況
(移送されてきたタンク残水を収集するの
に用いられる。)



(写真4-1)
装備着脱用のハウス設置中の状況
(C9タンク)



(写真4-2)
装備着脱用ハウス内の状況
(C4タンク)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。